

C-43 ミシン用カタン糸に関する研究
立正女大家政 松田歌子

目的 通常家庭で使用するミシン用カタン糸には ロー引きと普通糸の2種類がある。この2種間には 性質上かなりの差異があると思われる。またミシン縫製によっておこるシームパッキングの原因の一つに、糸の伸びや収縮が考えられる。そこでこれら2種間の糸の性質(伸び・収縮・破断強度)や、ミシン縫製による縫いつれ、洗濯による収縮等を比較検討して、どちらの糸が縫製の目的に適っているかを実験したので その結果を報告する。

方法 試料は市販のミシン用カタン糸ロー引きと普通糸の50番・60番・80番(同一会社製)使用。

- ① ショッパー型引張試験機による各種糸の伸び率と破断強度を測定した。
 - ② 水道水・蒸留水・合成洗剤水や石鹼水に10分間浸漬し、その収縮率をしらべた。
 - ③ ミシンの縫目を調整して、巾6cm長さ30cmの試布(ポリエステル35%・綿65%の混紡布)を、ランダムに1種類2枚ずつ5回に分けてミシン縫いをおこない、縫いつれならびに洗濯による縫い目の収縮をしらべた。
 - ④ 各種の糸に1mの標をつけ、ミシンの張力による二者間の伸びの差異を見た。
- 結果 ①破断強度はいずれもロー引き糸の方が強く、②伸び率は普通糸の方が大であった。③糸の収縮は、いずれの場合もロー引き糸の方が大であった。④ミシンがけによつて、普通糸はロー引き糸より わずかに伸びており、⑤そのためか、ミシン縫目長さの洗濯による収縮率には両者間に差は見られなかった。